

検体検査内容変更のお知らせ

19-P018 (2019 Sep.)

(25-OHビタミンD, EBウイルス抗体等)

[1/5]

サポートライン
2147

このたび、別掲の検査項目について、検査方法および基準値等を変更させていただきます。
診療科のみなさまには、ご賢察の程よろしくお願いいたします。

2019年 10月 1日 (火) 受託分より

変更点の概要

検査項目	変更内容	新	旧
25-ヒドロキシビタミンD	検査方法	CLEIA	CLIA
	基準値	ビタミンD欠乏判定の カットオフ：20 ng/mL	設定なし
	検体保存方法	冷蔵	凍結
	所要日数	3～5日	2～8日
EBV VCA IgG EBG VCA IgM EBV VCA IgA EBV EA-DR IgG EBV EA-DR IgA EBV EBNA	検査方法	FAT (同一方法で試薬変更)	FAT
隣グルカゴン [RIA]	受託終了	(代替項目： 隣グルカゴン[EIA])	



25-ヒドロキシビタミンD (total)

[2/5] サポートライン
2147

ビタミンD欠乏判定に用いられる「25-ヒドロキシビタミンD」の検査試薬をCLEIA法に変更いたします。

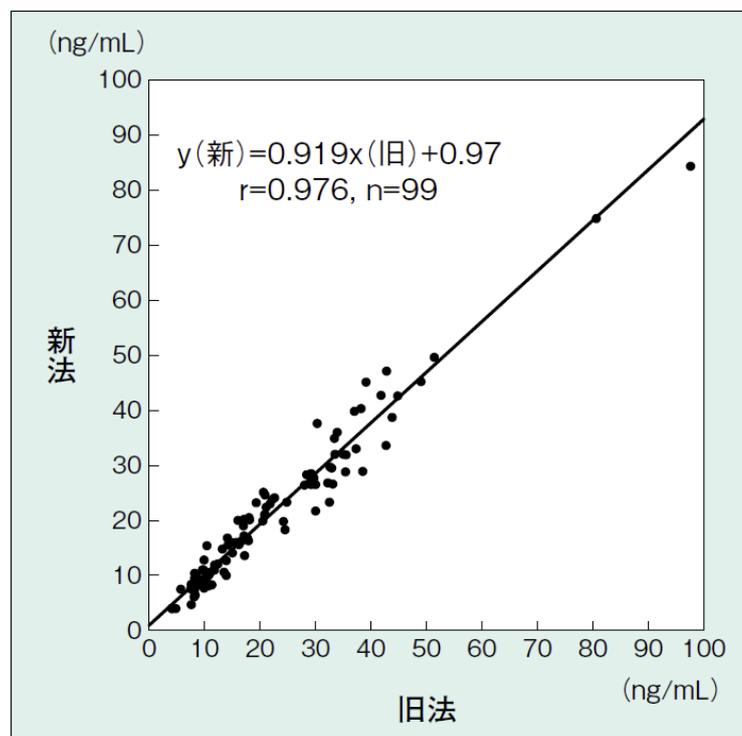
新旧二法の相関は良好で、日本小児内分泌学会の「ビタミンD欠乏性くる病・低カルシウム血症の診断の手引き」に示されているカットオフ値を基準値として設定します。

検査項目	変更内容	新	旧
25-ヒドロキシビタミンD	検査方法	CLEIA	CLIA
	基準値	ビタミンD欠乏判定の カットオフ：20 ng/mL	設定なし
	検体保存方法	冷蔵	凍結
	所要日数	3～5日	2～8日

「ビタミンD欠乏性くる病・低カルシウム血症診断の手引き」によるビタミンD欠乏症

20 ng/mL (50 nmol/L) 以下

15 ng/mL (37.5 nmol/L) 以下であればより確実



LSIメディエンス検討

京都大学医学部附属病院検査部

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp



KYOTO UNIVERSITY



一次サンプル
採取マニュアル

グルカゴン (胰グルカゴン) [RIA]

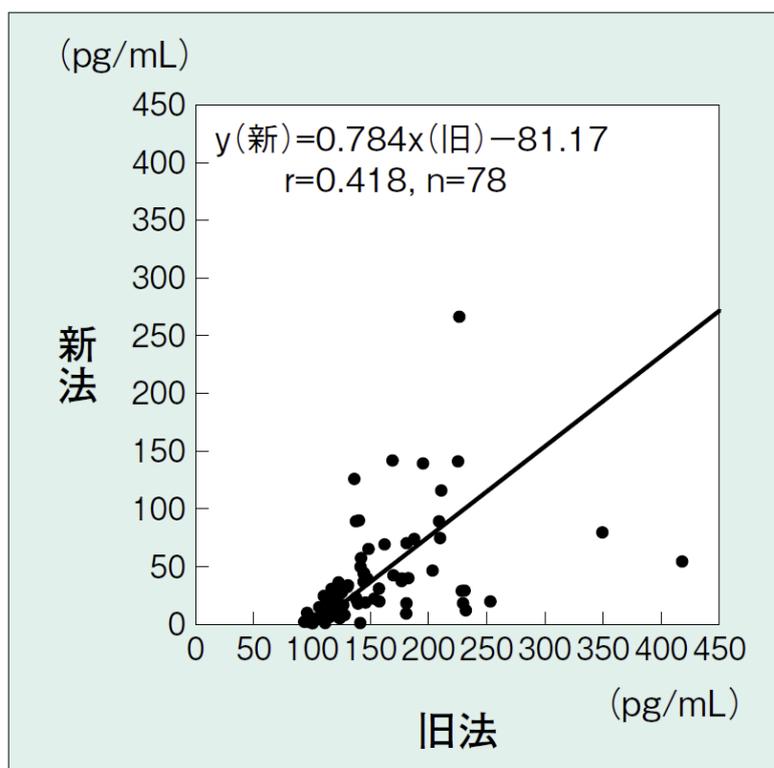
 [5/5] サポートライン
2147

検査試薬の国内の品質検査基準を満たすことができないために試薬製造が遅延し、一時受託中止となっていた表記検査項目のについて、受託を中止しEIA法に変更いたします。

検査項目	変更内容	新	旧
胰グルカゴン [RIA]	受託終了	(代替項目： 胰グルカゴン[EIA])	

従来のRIA法はグルカゴン分子のC末端側を認識するモノクローナル抗体を用いており、相同的なアミノ酸配列を有するグリセンチン (1-61) やミニグルカゴンなどの類縁ペプチドにも反応し、その測定値は実質的にこれらペプチド群の総量を反映していました。一方、EIA法ではグルカゴン分子のC末端およびN末端をそれぞれ認識する2つの抗体によるサンドイッチ法に基づくことから、より特異的にグルカゴンを検出することが可能です。

本EIA法はグルカゴン測定における現時点の標準法たるLC-MS/MSとの相関も良好です。



LSIメディエンス検討

